令和7年度

肢体不自由教育部門

中学部

第 1, 2, 3学年

④学習グループ

年間指導計画

	学 部	中学部 学 年 第1学年 教育課						教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程		
	教科等名			国語	· 数学		学習グル	ループ名	中④		
		(1)日常生活	舌に必要な	、国語力	・数学力を身に	付ける。					
	目標・ねらい	(2)人との関	見わりの中	で、伝え	合う力を高め、	思考力や想像力を	養う。				
		(3)身の回り	りにある数	で形に興	味をもち、日常	に生かそうとする)				
	担当教職員	萩原圭介	内田麻衣	柳堀招	也 高橋大幸	西坂千恵美	収あまね				
*	:学校介護職員	*飯田実和	*池田	敏行							
:	年間授業時数				1年	367	単位時間				
	使用教科書	1年 東書	国語☆	ሰ ជជ	あかね書房の	学習えほんかたか	なえほんアイウ	エオ 教出 数	学公公公公		
月	単元(題材	オ) 名	指導時数		○主な	学習内容、◆ねら	い(評価の観点))	指導上の留意点及び工夫		
4	敬語の使い方				、尊敬語、謙譲 での言葉遣いに	語 こついて知り、場面	に応じて使うこと	ができる。	・繰り返して学習できるようにして、理解の 定着を図る。		
5	時刻と時間	と時間						・身近な物の絵や写真を手がかりにして、文 字や数量を扱う学習を行う。			
6	ニュース調べ		7				、何をしたかを短い言葉でまとめる。 でニュースを調べ、自分の言葉で表現でき ・具体的な場面を設定して、イメージ				
7	図形		6	○形の弁 ◆基本的 る。	注別、形の性質 りな図形の性質	、平面と立体 を知り、身の周り)のものの形を図	のものの形を図形として捉え			
9				○インタビューをして、聞いたことをメモする。○取材した内容を発表する。◆伝えたいことをはっきりとさせて質問できる。◆相手や場面に応じた適切な言葉遣いを身に付ける。				・生活単元学習などの学習内容と関連させて、生活に即した数量として分かるように工夫する。			
11	金銭 ○硬貨・紙幣の種類 ◆金銭について、身の回りの生活と結び付けて考えることができる。				ことができる。						
12	年賀状を書こう		6		きの書き方 への気持ちを言	葉で表現できる。					
1	書道		6)使い方を知る。 注葉を、毛筆で記	書くことができる				
2	重さ、量		7	○重い・軽いとはかりの使い方、かさ比べ、単位 ◆重さや量の概念を理解し、区別することができる。							
3	文章を書いて伝え	えよう				/一ジや言葉遣いる 手や場面に応じ/		き表すことがで			
通年	①課題別学習 ②読書活動の充実 ③グループ活動	Ę	297	○個々に ○読書流 ○係活動		学習			①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。 ③1日の活動に見通しをもてるようにする。		

	学 部	部 中学部 学 年 第2学年 教育課					教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
	教科等名			国語・数学	<u> </u>	学習グ	ループ名	中④
		(1)日常生活	舌に必要な	、国語力・数学力を身に	に付ける。			
	目標・ねらい	(2)人との限	目わりの中	で、伝え合う力を高め、	思考力や想像力を	養う。		
		(3)身の回り						
	担当教職員	萩原圭介	内田麻衣	柳堀拓也 高橋大幸	西坂千恵美 早	型坂あまね		
*	:学校介護職員	*飯田実和	*池田	敏行				
1	年間授業時数			24	₹ 365	単位時間		
		2年 東書	国語☆	☆☆☆☆ あかね書房	の文字の絵本かん	ルじ② 教出 数	学公公公公公	
月	単元(題材	打) 名	指導時数	○主な	学習内容、◆ねら	い(評価の観点))	指導上の留意点及び工夫
4	敬語の使い方		6	○丁寧語、尊敬語、謙詞 ◆公の場での言葉遣い!	譲語 こついて知り、場面	に応じて使うこと	ができる。	・繰り返して学習できるようにして、理解の 定着を図る。
5	時刻と時間 6 ○時計の読み方、時間 ◆簡単な時計の読み方や時間を理解できる。					・身近な物の絵や写真を手がかりにして、文字や数量を扱う学習を行う。		
6	□ ○いつ、どこで、だれが、何をしたかを短い言葉でまとめる。 □ ○いつ、どこで、だれが、何をしたかを短い言葉でまとめる。 □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					・具体的な場面を設定して、イメージしやす		
7	図形		6	○形の弁別、形の性質、平面と立体 ◆基本的な図形の性質を知り、身の周りのものの形を図形として捉え る。				くする。
9	取材して伝えよう			○インタビューをして、聞いたことをメモする。 ○取材した内容を発表する。 ◆伝えたいことをはっきりとさせて質問できる。 ◆相手や場面に応じた適切な言葉遣いを身につける。			・生活単元学習などの学習内容と関連させて、生活に即した数量として分かるように工夫する。	
11	金銭 ○ ○硬貨・紙幣の種類 ◆金銭について、身の回りの生活と結び付けて考えることができる。				ことができる。			
12	年賀状を書こう	- 資状を書こう						
1	書道	○毛筆のための道具の使い方を知る。 ◆自分の名前や好きな言葉を、毛筆で書くことができる。						
2	重さ、量		○重い・軽いとはかりの使い方、かさ比べ、単位7 ◆重さや量の概念を理解し、区別することができる。					
3	○相手に応じたメッセージや言葉遣いを用いる。 文章を書いて伝えよう 5 ◆自分の気持ちを、相手や場面に応じた言葉遣いで書き表すことができる。					<u></u>		
通年	①課題別学習 295 ○個々に応じた課題別学習 ②読書活動の充実 ○読書活動 ③グループ活動 ○係活動						①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。 ③1日の活動に見通しをもてるようにする。	

	学 部 中学部 学 年 第3学年 教育課程名					 学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
	教科等名			国語・数学	•	学習グ	ループ名	中④
		(1)日常生》						
	目標・ねらい	(2)人との[
		(3)身の回!	りにある数	や形に興味をもち、日常	に生かそうとする。)		
	担当教職員	萩原圭介	内田麻衣	柳堀拓也 高橋大幸	西坂千恵美	りあまね		
*	·学校介護職員	*飯田実和	*池田	敏行				
1	年間授業時数			3年	360	単位時間		
		3年 好学	社 アレ	クサンダとぜんまいね	ずみ 戸田デザイ	′ン研究所 とけ	いのえほん	
月	単元(題材	t) 名	指導時数	○主なき	褶内容、◆ねら	い(評価の観点))	指導上の留意点及び工夫
4	敬語の使	い方	6	○丁寧語、尊敬語、謙譲◆公の場での言葉遣いに	語 ついて知り、場面!	に応じて使うこと	ができる。	・繰り返して学習できるようにして、理解の 定着を図る。
5	時刻と時間	刻と時間				・身近な物の絵や写真を手がかりにして、文 字や数量を扱う学習を行う。		
6	Oいつ、どこで、だれが、何をしたかを短い言葉でまとめる。 - ユース調べ 7 ◆新聞やインターネットでニュースを調べ、自分の言葉で表現できる。					・具体的な場面を設定して、イメージしやす		
7	図形		6	○形の弁別、形の性質、平面と立体 ◆基本的な図形の性質を知り、身の周りのものの形を図形として捉え る。			くする。	
9	取材して伝えよう			○インタビューをして、聞いたことをメモする。 ○取材した内容を発表する。 ◆伝えたいことをはっきりとさせて質問できる。 ◆相手や場面に応じた適切な言葉遣いを身に付ける。			・生活単元学習などの学習内容と関連させて、生活に即した数量として分かるように工夫する。	
11	金銭				ことができる。			
12	年賀状を書こう		6	○はがきの書き方◆相手への気持ちを言	葉で表現できる。			
1	書道		6	○毛筆のための道具の ◆自分の名前や好きな		書くことができる		
2	重さ、量		7	○重い・軽いとはかり ◆重さや量の概念を理				
3	○相手に応じたメッセージや言葉遣いを用いる。 文章を書いて伝えよう 5 ◆自分の気持ちを、相手や場面に応じた言葉遣いで書き表すことができる。				き表すことがで			
通年	①課題別学習 ②読書活動の充実 ③グループ活動	課題別学習 ○個々に応じた課題別学習 290 ○読書活動の充実 290					①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。 ③1日の活動に見通しをもてるようにする。	

						1	11-374	等引凹 	1	放体小日田教育即]		
	学 部	中	学部		学 年	第	§1, 3		教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程		
	教科等名		音楽 学習グループ名 中④									
		(1)曲名や曲流	由名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける。									
	目標・ねらい	(2)曲や演奏	2) 曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴く。									
		(3)音や音楽	に楽しく	関わり、	協働して音楽	活動をする楽し	,さを感じ	じながら、身の	回りの様々な音楽	に興味をもつ。		
	担当教職員	齊藤尚寬、萩	蒙尚寬、萩原圭介 内田麻衣、柳堀拓也、									
*	·学校介護職員	*池田敏行、	*飯田	飯田美和								
1	年間授業時数				1、34	年 37	単	位時間				
	使用教科書] [年 東書 音楽	*	☆ 3年	東書 音楽公公	***		
月	単元(題札	1) 名	指導時数			○主な学習内	内容、◆	ねらい		指導上の工夫		
4	オリエンテー	-ション			紹介、好きな的 い友達と交流し	曲の紹介。 して、よい雰囲	囲気で授	業に臨めるよ	うにする。	・和やかな雰囲気を作る。 ・好きな音楽や、音楽における得意分野など をお互いに知る。		
5	ソルフェー	-ジュ	5		フェージュ ・ウンの言葉技	掛けに合わせて	て、リズ	ぶんを叩くこと	こができる。	・イラストを用いた、リズムカードを使用する。 ・イラスト付きの楽譜を使用する。 ・音符と休符が意識できるようタン・ウンと 言葉掛けを行う。		
6	表現活動		1	○楽器演奏、鑑賞 ◆楽器物を使って、様々な雨の音を表現することができる。 ◆友達と演奏する楽しさ、繰り返し練習してできるようになる達成感 を味わう。				・様々な雨の音を聴いたり、映像で鑑賞したりする。 ・雨の音を擬音で表現する。				
7	7 鑑賞表現			○鑑賞、演奏 ◆日本の伝統的な文化を味わうことができる。 ◆身体を動かして、鳴子を鳴らすことができる。			・踊りやすいよう、簡単な踊りにアレンジする。・楽器を握りやすいよう、マジックテープなどを使用する。					
9	9 表現活動			○鑑賞、演奏◆日本の伝統的な文化を味わうことができる。◆タイミングに合わせて、パーランクを鳴らすことができる。			・衣装や楽器に注目できるような動画を選ん で鑑賞をする。					
10	器楽演奏			○虫の音など、音楽で表現する。 ◆季節の移り変わりを、曲から感じ取ることができる。 ◆楽譜を見て音を鳴らし、虫の音を表現することができる。			・音を鳴らすときに事前に言葉掛けを行う。 ・虫の音がイメージしやすいよう。音源や動 音で鳴き声を聴く。					
11	表現活動		3	◆日本(身体活動 D伝統的な文化 合わせて友達な	化を味わうこと と踊ることがて	とができ できる。	3 .		・踊りやすいよう、簡単な踊りにアレンジする。		
12	12 歌唱表現			◆表情 ⁴ ○輪唱	「静かな湖畔」	して、発声をす				・発声前にストレッチを行い、身体をほぐす。 ・録音を練習の最後に聴き、客観的に振り返りができるようにする。		
1	·			◆ オー?		など 床や関心をもつ さて音を鳴らす				・楽器のイラストを使用して、オーケストラの楽器や配置を分かりやすくする。		
2	器楽演奏			◆ウッl	ヾブロックやト	ド・クロック」 トライアングル を完成すること	ルで時計		きる。	・演奏部分を分かりやすくするため。イラストを用いた楽譜を使用する。 ・譜面や色楽譜を使って、視覚的に理解できるようにする。		
3	歌唱表現	3	◆歌に終	身体表現 売いて、踊るこ	ことができる。	_ 			・具体物や写真を用いて、歌詞の内容をイメージしやすいようにする。			
通年	始まりの歌 季節の歌			」をもち、授業	業に向かう気持 を聴き、四季 <i>0</i>			らことができ	・毎回同じ曲を用いることで枠組みを作り、 見通しをもって授業に参加できるようにす る。			

				之 <i>)</i> 即业率宋付加文			ı	1文1本个日田9人目 17			
	学部	中学	部	学 年	第2	学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程			
	教科等名			音楽		学習グル	レープ名	中④			
	目標・ねらい	(2)曲や演奏の楽	必要な技能を身に 回りの様々な音楽								
		┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━									
*	:学校介護職員	*池田敏行、*									
:	年間授業時数			2年	36	単位時間					
	使用教科書				2年	東書 音楽公	<u> </u>				
月	単元(題札	才)名 指導	導時数	С	主な学習内容、	♦ねらい		指導上の工夫			
4	オリエンテーショ	1) I		自己紹介、好きな曲の 新しい友達と交流して		で授業に臨めるよ	うにする。	・和やかな雰囲気を作る。 ・好きな音楽や、音楽における得意分野など をお互いに知る。			
5	ソルフェージュ			ソルフェージュ タン・ウンの言葉掛け	た合わせて、!	リズムを叩くこと	こができる。	・イラストを用いた、リズムカードを使用する。 ・イラスト付きの楽譜を使用する。 ・音符と休符が意識できるようタン・ウンと 言葉掛けを行う。			
6	表現活動		4	楽器演奏、鑑賞 楽器物を使って、様々 友達と演奏する楽しさ 味わう。		・様々な雨の音を聴いたり、映像で鑑賞したりする。 ・雨の音を擬音で表現する。					
7	鑑賞表現		3 ♦	鑑賞、演奏 日本の伝統的な文化を 身体を動かして、鳴子		・踊りやすいよう、簡単な踊りにアレンジする。・楽器を握りやすいよう、マジックテープなどを使用する。					
9	表現活動		4 ♦	○鑑賞、演奏◆日本の伝統的な文化を味わうことができる。◆タイミングに合わせて、パーランクを鳴らすことができる。				・衣装や楽器に注目できるような動画を選ん で鑑賞をする。			
10	器楽演奏		3 ♦	○虫の音など、音楽で表現する。 ◆季節の移り変わりを、曲から感じ取ることができる。 ◆楽譜を見て音を鳴らし、虫の音を表現することができる。				・音を鳴らすときに事前に言葉掛けを行う。 ・虫の音がイメージしやすいよう。音源や動 音で鳴き声を聴く。			
11	表現活動		3 ♦	鑑賞、身体活動 日本の伝統的な文化を 曲に合わせて友達と踊				・踊りやすいよう、簡単な踊りにアレンジする。			
12	歌唱表現		3 O	「発声の歌」「あくび 表情や姿勢を意識して 輪唱「静かな湖畔」な タイミングよく、歌し	、発声をする <i>こ</i> こど	ことができる。 3ことができる。		・発声前にストレッチを行い、身体をほぐす。 ・録音を練習の最後に聴き、客観的に振り返りができるようにする。			
1			3 ♦	「カルメン前奏曲」な オーケストラに興味や タイミングに合わせて	関心をもつこと			・楽器のイラストを使用して、オーケストラの楽器や配置を分かりやすくする。			
2	器楽演奏		3 ♦	「シンコペイテッド・ ウッドブロックやトラ 友達と協力して曲を気	イアングルで	詩計の音を表現で	きる。	・演奏部分を分かりやすくするため。イラストを用いた楽譜を使用する。 ・譜面や色楽譜を使って、視覚的に理解できるようにする。			
3	○歌唱、身体表現歌唱表現→歌に続いて、踊ることができる。							・具体物や写真を用いて、歌詞の内容をイメージしやすいようにする。			
通年	始まりの歌 季節の歌		○♦	○呼名 ○季節の曲 ◆見通しをもち、授業に向かう気持ちを高める。 ◆伝統的な季節の曲を聴き、四季の移り変わりを感じることができ る。				・毎回同じ曲を用いることで枠組みを作り、 見通しをもって授業に参加できるようにす る。			

	学 部	F	学部	学 年	第1	学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
	教科等名			 美術		学習グリ	レープ名	中④
		(1)テーマギ	素材など	から発想を広げて自分ら	しい作品を作ること	とができる。		
	目標・ねらい	(2)様々な素						
(3) 自ら手元を動かして制作したり、発表したりすることができる。								
担当教職員 萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美								
*	:学校介護職員	*飯田実和	*池田	敏行				
1	年間授業時数				75	単位時間		
	使用教科書				「しもんスタン	プでかいてみよう	う」偕成社(15	(
月	月単元(題材)名			(つ主な学習内容、	◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテー	-ション		○作品紹介や手本を見ず ◆美術ではどのようなができる。			値をもつこと	・美術室内にあるものや場所を示したり、用 具を実際に使って、表現方法を伝える。
5				○制作に必要な道具のり ○道具を使い、制作する ○2色刷りや回転版画を	る。	「について確認す	る。	・写真や動画で制作の工程を提示し、活動内容に見通しがもてるようにする。 ・知識・技能が身に付けられるよう継続的に
6				○版画制作の計画を立てる。 ○作業道具の扱い方や片付け方について知る。 ◆各工程の手順を理解することができる。				作業を行う。 ・授業で培った創意工夫、技術などを総合的 に発揮できるよう、様々な技法や用具を用意
7			23	◆各工程を分割にする。 ことができる。	ことで活動に見通	通しをもって集中		する。
9				◆版画用具の扱い方や ◆様々な表現方法を知る		<u>たいててかんらむ</u>),	
10				○木材の積層づくり○紙粘土制作○陶芸制作○など				・実際に用具に触れて、意欲を高め完成のイメージをもつことができるようにする。 ・映像や手本を提示しながら制作工程を知
11	<u> </u>			◆木材を積み重ねるこ。 ◆紙粘土の扱い方につい ◆陶芸制作の各工程を発	いて知る。		iØ6.	り、自分が表現したいものを作って制作する。
12	12 墨東祭に向けて舞台道具作 り、作品展示			○舞台発表に向けて、 ◆段ボールや紙など、 ことができる。)学習に生かす	・各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に 取り組むことで、達成感を高める。
1	1 日本の文化に触れよう			○書き初めを体験する。 ○昔の正月遊びを体験する。 ◆書き初めや正月遊びを通して、日本の伝統を体験する。			,),	・友達と協力して作ることで、意欲を高める。
2	2 友達へのプレゼントづくり、 グループでの親睦会、卒業制			〇メッセージカード作り 〇卒業に関連した物作り	Ŋ			・制作した作品を並べることで、振り返ることができるようにする。 ・様々な見本を用意し、生徒が選択して取り
3				○お楽しみ会やゲーム◆気持ちを込めて丁寧	に制作することか			組めるようにする。
通年	通年作品鑑賞			○美術動画や写真を鑑賞 ◆日本や世界の美術作品			学ぶ。	身近で有名な作品を提示し、興味・関心を高める。

	学 部	F	中学部	学年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程			
	教科等名			美術	学	習グループ名	中④			
[目標・ねらい	(2)様々な素	マや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作ることができる。 な素材や道具を扱って造形的な面白さを感じ取り、創作ができる。 手元を動かして制作したり、発表したりすることができる。							
担当教職員										
1	年間授業時数				73 単位時間					
	使用教科書			「あそびのて	ひろば② やさしいてづくり)のプレゼント」ポブ	プラ社(2・3年)			
月	単元(題材	t) 名	指導時数	(〕主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫			
4	4 オリエンテーション			○作品紹介や手本を見る◆美術ではどのようなもができる。	て、実際に取り組む。 学習の種類があるのか学び、	見通しをもつこと	・美術室内にあるものや場所を示したり、用具を実際に使って、表現方法を伝える。			
5 6 7	_ _ _ 版画制作		24	○道具を使い、制作する ○2色刷りや回転版画な ○版画制作の計画を立て ○作業道具の扱い方やり ◆各工程の手順を理解。 ◆各工程を分割にするる ことができる。	などを行う。 てる。 †付け方について知る。 することができる。 ことで活動に見通しをもって	・写真や動画で制作の工程を提示し、活動内容に見通しがもてるようにする。 ・知識・技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。 ・授業で培った創意工夫、技術などを総合的に発揮できるよう、様々な技法や用具を用意する。				
9 10 11	0 立体制作			◆様々な表現方法を知る ○木材の積層づくり ○紙粘土制作 ○陶芸制作 など ◆木材を積み重ねること ◆紙粘土の扱い方につい	とで、手指の操作性や発想だ	りを高める。	・実際に用具に触れて、意欲を高め完成のイメージをもつことができるようにする。 ・映像や手本を提示しながら制作工程を知り、自分が表現したいものを作って制作する。			
12	2 墨東祭に向けて舞台道具作 り、作品展示				様々なものを作る。作品展え 様々なものを扱うことで、[・各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に 取り組むことで、達成感を高める。				
1	日本の文化に触れよう			○書き初めを体験する。 ○昔の正月遊びを体験する。 ◆書き初めや正月遊びを通して、日本の伝統を体験する。			・友達と協力して作ることで、意欲を高める。			
2	──グループでの親睦会、卒業制			○メッセージカード作り○卒業に関連した物作り○お楽しみ会やゲームジ◆気持ちを込めて丁寧	Ď		・制作した作品を並べることで、振り返ることができるようにする。 ・様々な見本を用意し、生徒が選択して取り 組めるようにする。			
通年	在 作品鑑賞			○美術動画や写真を鑑賞◆日本や世界の美術作品	賞し、理解を深める。 品を鑑賞し、美術の歴史や3	 文化を学ぶ。	身近で有名な作品を提示し、興味・関心を高める。			

	学 部	F	中学部	学 年	第3	 学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
	教科等名			 美術		学習グリ	レープ名	中④
		(1)テーマギ	素材など	から発想を広げて自分らし	しい作品を作ること	とができる。		
目標・ねらい (2)様々な素材や道具を扱って造形的な面白さを感じ取り、創作ができる。								
(3) 自ら手元を動かして制作したり、発表したりすることができる。								
	担当教職員							
*	学校介護職員	*飯田実和	*池田	敏行				
1	年間授業時数				74	単位時間		
	使用教科書			「あそびのひ	ろば② やさし	ハてづくりのプロ	レゼント」ポプ	
月	月 単元(題材)名			()主な学習内容、	♦ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテー	-ション		○作品紹介や手本を見る◆美術ではどのようななができる。			心をもつこと	・美術室内にあるものや場所を示したり、用 具を実際に使って、表現方法を伝える。
5	5			○制作に必要な道具の場所や、活動場所について確認する。 ○道具を使い、制作する。 ○2色刷りや回転版画などを行う。				・写真や動画で制作の工程を提示し、活動内容に見通しがもてるようにする。 ・知識・技能が身に付けられるよう継続的に
6	版画制作			○版画制作の計画を立 ○作業道具の扱い方やり ◆各工程の手順を理解	てる。 片付け方について			作業を行う。 ・授業で培った創意工夫、技術などを総合的 に発揮できるよう、様々な技法や用具を用意
7			24	◆各工程を分割にする。 ことができる。 ◆版画用具の扱い方や	ことで活動に見通	値しをもって集中		する。
9				◆様々な表現方法を知る		-WCCN.CG&),	
10				○木材の積層づくり○紙粘土制作○陶芸制作 など				・実際に用具に触れて、意欲を高め完成のイメージをもつことができるようにする。 ・映像や手本を提示しながら制作工程を知
11	立体制作 11			◆木材を積み重ねるこの ◆紙粘土の扱い方につい ◆陶芸制作の各工程を知	ハて知る。		ida.	り、自分が表現したいものを作って制作する。
12	12 墨東祭に向けて舞台道具作 り、作品展示			○舞台発表に向けて、木 ◆段ボールや紙など、木 ことができる。)学習に生かす	・各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に 取り組むことで、達成感を高める。
1	1 日本の文化に触れよう			○書き初めを体験する。 ○昔の正月遊びを体験する。 ◆書き初めや正月遊びを通して、日本の伝統を体験する。			・友達と協力して作ることで、意欲を高める。	
2	2 友達へのプレゼントづくり、 グループでの親睦会、卒業制			○メッセージカード作り ○卒業に関連した物作り	Ď			・制作した作品を並べることで、振り返ることができるようにする。 ・様々な見本を用意し、生徒が選択して取り
3	1			○お楽しみ会やゲーム◆気持ちを込めて丁寧	こ制作することか			組めるようにする。
通年	通年作品鑑賞			○美術動画や写真を鑑賞◆日本や世界の美術作品			学ぶ。	身近で有名な作品を提示し、興味・関心を高める。

	学 部	F	中学部		学 年	第1,	2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
	教科等名			保健	体育		学習グ	ループ名	中④
	目標・ねらい	(2)様々な身	体の使し	\方を体験	的に学び、動き	動を行う意欲を育る を工夫する。	t.		
		(3)友達と協					 振あまわ		
*	担当教職員 :学校介護職員	*飯田実和			6 间侧八十	口拟 I 心大 十	-4XU) ON 110		
年間授業時数 40 単位時間									
	使用教科書					からだ	のえほん4から	だにもしもし	
月	単元(題材	オ) 名	指導時数		○主な学	習内容、◆ねら	い(評価の観点))	指導上の留意点及び工夫
5	陸上競技球技	11	◆活動を	競技、集団行動、 楽しみながら身! スポーツが心身!		5.		・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。 ・リラックスして取り組めるよう、環境を整える。	
6	· 水泳 軽運動		7	◆水の浮◆水に慢	² 力でリラクゼ- 【れ、自己の能】	中での立位、歩行 ーションを図る。 カに適した課題を み、歩行など水中	・室温、水温、WBGTを管理し、安全に入水できるようにする。 ・水中でリラックスできるように1対1で入水する。 ・補助具を使用し、恐怖感や抵抗感を和らげる。 ・個に応じた課題を設定する。		
9 10 11	球技 集団行動 ダンス	12	○球技・ゲーム・試合 ○集団行動・ダンス ○仲間と共に感じを込めて同じ動きを合わせたり、 イメージを捉えて自己を表現したりする。 ◆感じを込めて踊り、集団で息を合わせる楽しさや喜びを味わう。 ◆カウントをとりながら身体を動かす。ペアになった友達とカウントを合わせる。 ◆ルールを理解し、集団で協力する力を養う。 ◆身々のいろいろな使い方を学び、楽しみながらボディーイメージを					・ルールを簡潔化し、分かりやすい課題設定で協議を行う。 ・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。 ・個々に対して意欲的に取り組める目標を設定する。 ・興味をもちやすい個々の課題を設定する。	
2					高める。 ○生涯スポーツ ◆ルールを理解し、協力してゲームを行う。 ◆仲間と連携し、ゲーム展開できるようにする。相互に影響を与え、 10 関わっていることを理解する。 ○剣道:基本動作・面・小手 ◆伝統的な行動の仕方を理解し、相手を尊重して積極的に取り組む。				・様々な生涯スポーツを経験できるように種目を設定する。 ・ルールを簡潔化し、分かりやすい課題設定で協議を行う。 ・興味をもちやすい個々の課題を設定する。 ・的となる対象物を見やすくする。 ・実態に応じて傾斜台などを使用する。
通年	通年 保健				身の健康や安全、傷害の防止、心と身体				・体の発育について個人差があることなど、 安心させることができる言葉掛けをする。また、必要に応じて、ゲストティーチャー等を 招聘して、指導を行う。

	学 部	#	学部	学 年	第3	 学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程					
	教科等名			保健体育		学習グ	ループ名	中④					
		(1)積極的に)積極的に体を動かすとともに、日常的に運動を行う意欲を育む。										
	目標・ねらい	(2)様々な身	(2)様々な身体の使い方を体験的に学び、動きを工夫する。										
		(3)友達と協	お力しなか	ら活動する。									
ļ .	担当教職員			え 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね									
	·学校介護職員	*飯田実和	飯田実和 *池田敏行										
-	年間授業時数 		38 単位時間 からだのえほん 4 からだにもしもし										
<u> </u>	使用教科書 単元 (題林	t) Ø	指導時数	○ <u></u> 十七世				指導上の留意点及び工夫					
月	半儿 (越作	小石	拍导时数	<u>し土</u> な子	·音内合、▼/Uり(ハ(計画の観点))	拍导工の田总県及び工大					
4	陸上競技 ·球技		10	○体育祭競技、集団行動、 ◆活動を楽しみながら身ん ◆運動やスポーツが心身ん	体を動かす。	5.		・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。 ・リラックスして取り組めるよう、環境を整					
5	◆運動やスポーツが心身に及ぼす効果を知る。							える。 					
6				○水慣れ、浮き身、水の変わると		,		・室温、水温、WBGTを管理し、安全に入水 できるようにする。 ・水中でリラックスできるように 1 対 1 で入					
7	水泳 軽運動		7	◆水の浮力でリラクゼ- ◆水に慣れ、自己の能, ◆個別の課題に取り組 る。	力に適した課題を	きもって、技能を でしかできない	E高める。 \動きを経験す	水する。 ・補助具を使用し、恐怖感や抵抗感を和らげ る。					
9				J		・個に応じた課題を設定する。							
10				○球技・ゲーム・試合 ○集団行動・ダンス ○仲間と共に感じを込む		わせたり、 イ	メージを捉えて	・ルールを簡潔化し、分かりやすい課題設定で協議を行う。 ・集団行動として、友達と協力する場面を設					
11	球技 集団行動 ダンス		11	自己を表現したりする。 ◆感じを込めて踊り、 ◆カウントをとりながら を合わせる。	集団で息を合わせ	:る楽しさや喜び ペアになった <i>抜</i>	がを味わう。 反達とカウント	定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合した り整列したりする。					
12				◆ルールを理解し、集I ◆身体のいろいろな使い 高める。			ィーイメージを	・個々に対して意欲的に取り組める目標を設定する。 ・興味をもちやすい個々の課題を設定する。					
1	4.7E 7.48 W			○生涯スポーツ ◆ルールを理解し、協力	力してゲームを行	i).	- B/郷ナ トニ	・様々な生涯スポーツを経験できるように種目を設定する。					
2	生涯スポーツ 武道 3			◆仲間と連携し、ゲーム展開できるようにする。相互に影響を与え、関わっていることを理解する。 〇剣道:基本動作・面・小手 ◆伝統的な行動の仕方を理解し、相手を尊重して積極的に取り組む。				・ルールを簡潔化し、分かりやすい課題設定で協議を行う。・興味をもちやすい個々の課題を設定する。・的となる対象物を見やすくする。・実態に応じて傾斜台などを使用する。					
	保健			心身の健康や安全、傷	書の防止、心と身			・体の発育について個人差があることなど、 安心させることができる言葉掛けをする。ま た、必要に応じて、ゲストティーチャー等を 招聘して、指導を行う。					

4 ○A~Zのアルファベット・フォニックス 〇名前をローマ字で書。。 〇アルファベットを使ったゲーム ◆アルファベットを使ったゲーム ◆アルファベットを使ったゲーム ◆アルファベットの大文字、小文字とその読み方を一致させ、形や書き方を 知る。 ・身近なものを題材とした単語を り入れる。 ・身近なものを題材とした単語を り入れる。 ・生徒の興味や関心、経験などに 内容や活動を設定する。 ・生徒の興味や関心、経験などに 内容や活動を設定する。 ・性教科等で生徒が学習したこと で、理解を深められるようにする 9 行き先を案内しよう 5 ○Go, stopなどの動詞を使い、意味を理解する。 ◆英語の指示を理解し、積極的に話す。 ・他教科等で生徒が学習したこと で、理解を深められるようにする 10 外国の文化を体験しよう 5 ○外国の行事等を知り、外国の文化を体験する。 ◆実際に行事に関連する活動を行い、外国の文化に親しむ。 ・他者とコミュニケーションを図	 の教育課程	知的障害を併せ有する生徒の教育語	教育課程名	,3学年	第1, 2	学 年		中学部	E	学 部		
目標・ねらい		中④	レープ名	学習グ		語	夕			教科等名		
(3) 外国を通して、外国路やその背景にある文化の多様性を担り、すすんでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。、 担当教職員 *学校介護職員 * 地田銀行 お田銀行 38 単位時間 地田銀行 38 単位時間 18 世の時間 18			や関心をもち、外	する外国語に興味	近な生活で見聞きず	を通して、身	験的な活	を用いた体	(1)外国語を			
#当教養員 **節四東和 本地田敏行 中間授業時数 38 単位時間 使用教料書 五味太郎のことばとかずの絵本ABC CD付英語カードあいさつと話しことば編 CDつき楽しく教える英語のう 月 単元 (類材)名		う力の素地を養う。	持ちなどを伝え合	自分の考えや気	たり話したりして、	外国語で聞い	うについて	簡単な事材	(2)身近で簡	目標・ねらい		
** 学取代書職員 ** 飯田実和 ** 池田敏行 中間授業時数 38 単位時間 18		3ろうとする態度を養う。、	ニケーションを図	すすんでコミュ	化の多様性を知り、	背景にある文	国語やそ	通して、タ	(3)外国を通			
### ### ### ### #####################					早坂あまね	. 萩原圭介	柳堀拓	内田麻衣	中村美和			
### 使用教科書							敏行	*池田	*飯田実和	<学校介護職員 	*	
月 単元 (題材) 名				単位時間	38					年間授業時数	1	
2	うた	編 CDつき楽しく歌える英語のうた	つと話しことば終	語カードあいさ	ABC CD付英語	かずの絵本A	のことば	五味太郎	3	使用教科書		
4		指導上の留意点及び工夫		い(評価の観点)	褶内容、◆ねらし	○主な学		指導時数	単元 (題材) 名 指導時			
5 ◆フルファベットの大文字、小文字とその読み方を一致させ、形や書き方を 知る。 ・身近なものを題材とした単語を り入れる。 6 クイズ大会をしよう 7 (What is this?の表現を使い、クイズに答えたり、クイズを出したりする。 ・生徒の興味や関心、経験などに内容や活動を設定する。 9 行き先を案内しよう 5 (●交話の指示を理解し、積極的に話す。 ・他教科等で生徒が学習したことで、理解を深められるようにする 10 外国の文化を体験しよう 5 (●本の外国の行事等を知り、外国の文化に親しむ。 ・他者とコミュニケーションを図要性や楽しさを味わうことができ要性や楽しきを味わうことができ要用気作りをする。 11 色、形、数に関連する単語を学習する。 ◆色、形、数について、英語で発音することができる。 ・の色、形、数に関連する単語を学習する。 ・ 12 (日本のよう) (日本のよう) (日本のよう) (日本のよう) (日本のように対しまする) 12 (日本のよう) (日本のよう) (日本のように対しまする) (日本のよう) (日本のように対しまする) (日本のよう	ことを、毎回	・英語で簡単な挨拶をしたり、やさししの指示を聞いて行動したりすることを、 の授業で取り入れ、繰り返し練習する。			0	ーマ字で書く	○名前を	6	- 冶/ゴニ	711777011 t	4	
- 身近なものを題材とした単語を クイズ大会をしよう 7 OWhat is this?の表現を使い、クイズに答えたり、クイズを出 したりする。 ・生徒の興味や関心、経験などに 内容や活動を設定する。 ・他教科等で生徒が学習したこと て、理解を深められるようにする 10 外国の文化を体験しよう 5 O外国の行事等を知り、外国の文化を体験する。 ◆実際に行事に関連する活動を行い、外国の文化に親しむ。 ・他者とコミュニケーションを図 要性や楽しさを味わうことができ 雰囲気作りをする。 ・他者とコミュニケーションを図 要性や楽しさを味わうことができ 雰囲気作りをする。 ○ ○ ○ 氏、数に関連する単語を学習する。 ◆ ● ○ 形、数について、英語で発音することができる。 ○ ○ ○ 日い物の場面で使う英語表現を知る。 ◆ 自分が買いたい物を、英語で話したり、選んだりできる。 ○ ○ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ □ ○ □ ○			、形や書き方を	読み方を一致させ	たノーム 字、小文字とその記	ベットの大文	◆アルフ	0	上子はノ	7 70 7 87 171 17	_	
6 クイズ大会をしよう 7 〇What is this?の表現を使い、クイズに答えたり、クイズを出したりする。 ・生徒の興味や関心、経験などに内容や活動を設定する。 9 行き先を案内しよう 5 ● 英語の指示を理解し、積極的に話す。 ・他教科等で生徒が学習したことで、理解を深められるようにする 10 外国の文化を体験しよう 5 ● 大際に行事に関連する活動を行い、外国の文化に親しむ。 ・他者とコミュニケーションを図要性や楽しさを味わうことができ雰囲気作りをする。 11 色、形、数 6 ● 色、形、数に関連する単語を学習する。 ● 色、形、数に可いて、英語で発音することができる。 1 買い物の場面で使う英語表現を知る。 ● 自分が買いたい物を、英語で話したり、選んだりできる。	を、学習に取	・身近なものを題材とした単語を、学習					ಸಾವ್ಯ)	
7		†り入れる。 										
7			へ カノ ブナ 川	カノブロダニナ	のま田を使い	·. (k	OWI					
7 9 行き先を案内しよう 5 ○ Qgo, stopなどの動詞を使い、意味を理解する。 ◆ 大語の指示を理解し、積極的に話す。 ・ 他教科等で生徒が学習したことで、理解を深められるようにする 10 外国の文化を体験しよう 5 ○ Q外国の行事等を知り、外国の文化を体験する。 ◆ 実際に行事に関連する活動を行い、外国の文化に親しむ。 ・ 他者とコミュニケーションを図 要性や楽しさを味わうことができ 雰囲気作りをする。 11	に合った指導	┃・生徒の興味や関心、経験などに合っ/	人 クイスを山	ソイスに合えた	′の衣現を使い、′			7	クイズ大会をしよう			
10 外国の文化を体験しよう 5 ◆英語の指示を理解し、積極的に話す。		内谷や沽動を設定する。 							7			
10 外国の文化を体験しよう 5 ◆英語の指示を理解し、積極的に話す。		-										
10		・他教科等で生徒が学習したことを活りて、理解を深められるようにする。						5	9 行き先を案内しよう			
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	₩ 7 = 1 0 2	/h+/ ¬> > > > + 507					5	0 外国の文化を体験しよう		10		
1		要性や楽しさを味わうことができるよう										
12 ○ ◆色、形、数について、英語で発音することができる。		雰囲気作りをする。									11	
12								6				
1 ○買い物の場面で使う英語表現を知る。 ◆自分が買いたい物を、英語で話したり、選んだりできる。				っていいてるの	、央話で発目98	数について	▼巴、7					
買い物をしよう 6 ◆自分が買いたい物を、英語で話したり、選んだりできる。												
			. 7)	英語表現を知る。	り場面で使う	○買い					
2			్ సం	ノ、選んだりでき	、英語で詰したり	良いたい物を	◆ 目分7 	6				
									2			
OWN 4-4-ET - D-ET++		-										
3 英語の文章を聞き取ろう			○簡単な物語を、日本語を交えて聞き、内容を理解する。◆世界中でよく知られる物語にふれる。					3	3 英語の文章を聞き取ろう 3			
		-										
通年 英語の歌				える。 	聞き、単語を覚え 	炊を繰り返し	○英語(通年 英語の歌			

	学 部	F	中学部	学年	第1,	2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程	
	教科等名		;	総合的な学習の時間		学習グル	レープ名	中④	
		(1)必要なる	と、興味	・関心のあること等を調べ	べる方法を習得する	5.			
	目標・ねらい	(2)相手の意	見を受け	入れたり、考えたことを含	かりやすく伝えが	たりできる。			
		(3)新しいる	とに興味	をもち、自ら調べたり取り	0組んだりすること	とができる。			
	担当教職員	萩原圭介							
*	学校介護職員	*飯田実和							
1	年間授業時数 39 単位時間								
	使用教科書					なし			
月	単元(題材	力 名	指導時数	○主な学	習内容、◆ねらり	い(評価の観点)	1	指導上の留意点及び工夫	
4	 仲間を知ろう 校内を案内しよう	j)	4	○自己紹介、学部、学校系◆新しく出会う友達や教師	紹介 職員を知り、協力し	しあう関係の基礎	を作る。		
5				○1光出の行声を到め	7	1 × //- c+>			
	1 学期の行事につ う	いて調べよ		○1学期の行事を調べる◆1学期の行事の見通し◆体育祭の種目を調べ、	」をもつ	- INTFIX			
6	自分のことを知る	35	12						
	係活動 調ベ学習		. –	◆自己理解を深める。 ○係活動 ◆白公の役割を白覚し	ブキスニト フ	ふきたいこ とた灯	12		
7				◆自分の役割を自覚し、できること、できないことを知る。 ◆係活動を行うことにより、自尊心、責任感を養う。 ・課題解決場面を設定し、助け合う・					
'								う活動を行う。	
9								- ・リラックスして取り組めるよう、環境を整 │ える。 ・ICT機器や補助具などを使用して、ここば	
							課題に取り組みやすいようにする。		
10	2学期の行事につ	いて調べよ		○2学期の行事を調べる◆2学期の行事の見通し		-体験		・一人一人の実態に応じて、補助具を工夫する。 る。	
	う 友達や先生のこと	を知ろう	14	◆墨東祭について調べ、 ◆他者理解を深める。	・活動への見通しがもてるよう、同じ学習内容 を繰り返して行う。				
11	係活動 調べ学習		14	○係活動◆自分の役割を自覚し、	・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。 ・日常生活の中での題材を設定し、主体性を				
				◆係活動を行うことに。	より、目尊心、責	賃仕感を養う。		伸ばすようにする。	
12	2							・実際的な活動で知識や技術を身に付けられるようにする。	
1									
	3学期の行事につ	いて調べよ		○3学期の行事を調べる		. Ø			
2	一う 感謝の気持ちを伝えよう 係活動 山調べ学習			◆3学期の行事の見通しをもつ。 ◆感謝の気持ちを養う。 ○係活動 ◆自分の役割を自覚し、できること、できないことを知る。					
3) 小子目			▼自力の役割を自見し、 ◆係活動を行うことに。			H 0 ∕ 0		
	<u> </u>							1	

	学 部	F	中学部		学年第3学年教育課程名				知的障害を併せ有する生徒の教育課程
	教科等名			総合的な	学習の時間		学習グル	ループ名	中④
		(1)必要なる	と、興味	· 関心())あること等を調/	べる方法を習得する	3.		
	目標・ねらい	(2)相手の意	見を受け	入れたり					
		(3)新しいる	とに興味	をもち、					
	担当教職員	萩原圭介	内田麻衣	柳堀护	站 高橋大幸	西坂千恵美 早	坂あまね		
*	学校介護職員	*飯田実和	*池田	敏行					
1	年間授業時数					38	単位時間		
	使用教科書						なし		
月	単元(題材	力 名	指導時数		○主な学	習内容、◆ねらり	い(評価の観点))	指導上の留意点及び工夫
4	仲間を知ろう 校内を案内しよう	Ď	4	○自己編 ◆新しく	紹介、学部、学校系 (出会う友達や教理	紹介 職員を知り、協力し	しあう関係の基礎	を作る。	
5	 1 学期の行事につ	いて調べよ			朝の行事を調べる 朝の行事の見通し	3、自己紹介カー をもつ	-ド作成		
6	う 自分のことを知る 係活動 調べ学習				祭の種目を調べ、 理解を深める。 勧				
7	אניים איני			◆自分の役割を自覚し、できること、できないことを知る。 ◆係活動を行うことにより、自尊心、責任感を養う。					・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。
9							- ・リラックスして取り組めるよう、環境を整える。 ・ICT機器や補助具などを使用して、ここぼま 課題に取り組みやすいようにする。		
10	 2学期の行事につ う 友達や先生のこと			◆2学 ◆墨東第	○2学期の行事を調べる、インタビュー体験◆2学期の行事の見通しをもつ。◆墨東祭について調べ、発表する。◆他者理解を深める。				・一人一人の実態に応じて、補助具を工夫する。 ・活動への見通しがもてるよう、同じ学習内容を繰り返して行う。
11	係活動 調べ学習		14	○係活動 ◆自分の	動 の役割を自覚し、	できること、て より、自尊心、責		13.	・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。 ・日常生活の中での題材を設定し、主体性を伸ばすようにする。
12									・実際的な活動で知識や技術を身に付けられるようにする。
1	3学期の行事につ	いて調べよ				る、1 年間のまと	<u>:</u> Ø		
2	一う 感謝の気持ちを伝えよう 係活動 調べ学習			◆感謝(○係活			できないことを知	13.	
3						より、自尊心、責			

		p州 / 平反 ((20231	FI支 <i>)</i>	都 少	て抜子仪 平间	拍导		放体个自田教育部門			
	学 部	F	中学部		学 年	第1	学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程			
	教科等名			特	別活動		学習グ	ループ名	中④			
E	標・ねらい	(2)身近な何	学習や活動に工夫して取り組む楽しさを知る。 身近な仲間を意識し、協力し合う方法を考えながら学校生活を送る。 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。									
	担当教職員 学校介護職員 ————————————————————————————————————			幸 保呂草健 佛京隆広 齊藤尚寛 中村美和 田敏行 * 市野明彦								
年	目間授業時数			38 単位時間								
	使用教科書						なし					
月	単元(題材	オ) 名	指導時数)主な学習内容、			指導上の工夫			
4	オリエンテー	ーション		◆学校生	や学習内容に関する E活に見通しや期待	撼をもつ。	ョン。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。			
7	新入生歓	迎会	2	◆ 新入生	紹介、レクリエーシ E歓迎会を通して学	学部の仲間や雰囲	気を知る。		・自分なりの方法で自己紹介できるよう練習 し、見通しをもち参加できるようにする。			
5	体育务	<u>,</u>	6	○体育 ◆体育	祭の競技種目を知 祭の競技種目を体 祭に見通しをもち	大験し、互いに励 5、参加する。	かまし合い、練習	習する。	・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。			
6	レクリエー	ション			ック、ゲームなと リエーションを通 。		・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。					
7	1学期を振り)返って	1		やスイッチなど <i>の</i> 朝を振り返り、頑		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。					
	2学期の			期の主な行事予定 期の行事予定を知		<u>ら</u> つ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。				
9	宿泊防災	訓練		○目標 ○頑張 ◆宿泊	イド教材を見て、 や係活動を決め、 ったことなどを発 防災訓練について の目標を決め、主	事前準備をする 後表する。 「内容を知り、身	る。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。			
10	墨東祭につ	סנוכ	8	〇発表 〇小道 〇墨東	祭の発表内容を協 の練習をする。 具や背景などを作 祭を振り返る。 の練習や道具の制	F成する。		参加する。	・自分なりの方法で活動できるよう支援具を 工夫したり、繰り返し練習したりし、見通し をもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーション がとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりでき る活動を設定する。			
12	2学期を振り)返って			朝を振り返り、頑朝を振り返り、頑			発表し合う。	・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを 行う。			
1	3学期の	予定		◆3学	期の主な行事予定 朝の行事予定を知	ID、見通しをも	57 .		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。			
2	3年生を送る会に向けて				生を送る会の準備 生を意識して送る		こ行う。		・これまでの送る会の写真を見て、自分達なりの送り方を考えられるように支援する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。			
	卒業式に向けて			○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。					・見通しがもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。			
3	1 年生を振り 進級に向	2	02年	○1年生を振り返って、1年間頑張ったことを考え、発表する。 ○2年生に向けて頑張りたいことや挑戦したいこを考える。 ◆1年間を振り返り、進級に向けて目標を確認する。				・自分なりの方法で発表できるよう支援する。 ・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。				
通年												

		17年7千1又 (中度(2025年度) 都立墨果特別文援字仪 年間指導計画 				放体个自田教育部門 				
	学 部	F	中学部		学 年	第	2学年		教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程	
	教科等名			特	別活動		学	習グル	ープ名	中④	
		(1)学習や活	動に工夫	 して取り	2組む楽しさを知る)0					
E	目標・ねらい	(2)身近な何	間を意識	し、協力	りし合う方法を考え	ながら学校生活	活を送る。				
		(3)行事への)期待感や	興味・厚	関心を高め、自主的)・主体的に活	動する。				
	担当教職員	牧 理 内	理 内田麻衣 丹澤聡子 西坂千恵美 高森寬太								
*	学校介護職員	*飯田実和	土橋み								
<u> </u>	手間授業時数			38 単位時間							
	使用教科書		ı	なし							
月	単元(題札	オ) 名	指導時数	へたまり		主な学習内容				指導上の工夫	
4	オリエンテー	ーション		◆学校生	や学習内容に関する 生活に見通しや期待	感をもつ。				・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。	
-4	新入生歓	迎会	2	◆新入生	内容について意見を 上歓迎会の準備を行	い、1年生を	カして準備をす 温かく迎える。 	する。		・出し物に見通しをもてるよう、どんな活動 があるか例示する。	
5	体育务	<u> </u>	6	○体育	祭の競技種目を知 祭の競技種目を依 祭に見通しをもち	験し、互いは	励まし合い、	 、練習	する。	・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。・学習グループを超えてコミュニケーション	
										がとれる場面を設定する。	
6	レクリエー	ション			Dモルック、ゲームなど ▶レクリエーションを通して、仲間や身近な支援者を意識しながら活 動する。					・学習グループを超えてコミュニケーション がとれる場面を設定する。	
7	1学期を振り	1		○発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。				・自分なりの方法で発表できるよう支援する。			
	2学期の	1		期の主な行事予定 期の行事予定を知		きもつ。			・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。		
9	9 移動教室		4	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。○移動教室に向けて事前準備をする。○移動教室を終えて頑張ったことなどを発表する。◆移動教室について見通しをもつ。			・移動教室に見通しをもてるよう、昨年度の写真や映像などの資料を用意する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。				
10	墨東祭につ	DUT	8	〇発表 〇小道 〇墨東	祭の発表内容を協 の練習をする。 具や背景などを作 祭を振り返る。 の練習や道具の制	成する。		的に参	加する。	・自分なりの方法で活動できるよう支援具を 工夫したり、繰り返し練習したりし、見通し をもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーション がとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりでき る活動を設定する。	
12	2学期を振り)返って	1		期を振り返り、礼 期を振り返り、礼			いに発	表し合う。	・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。	
1	3学期の	予定		◆3学	期の主な行事予定 期の行事予定を知	1り、見通しを	きもつ。			・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。	
2	3年生を送る会	5		生を送る会の準備 生を意識して送る		った行う。			・これまでの送る会の写真を見て、自分達なりの送り方を考えられるように支援する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。		
	卒業式に向	可けて	2	○卒業式の練習に参加する。◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。				0	・見通しがもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。		
3	2 年生を振り 進級に向			03年	○2年生を振り返って、1年間頑張ったことを考え、発表する。 ○3年生に向けて頑張りたいことや挑戦したいこを考える。 ◆1年間を振り返り、進級に向けて目標を確認する。			・自分なりの方法で発表できるよう支援する。 ・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。			
通年											

		D/H / 干/又 (2023-	一汉)	即立至不刊加入	2抜子仪 平间	旧会可同		放体个目田教育部门			
	学 部	#	学部		学 年	第3	学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程			
	教科等名			特	別活動		学習グル	ループ名	中④			
		(1)学習や活	動に工夫	して取り	0組む楽しさを知る	5.						
	目標・ねらい	(2)身近な仲	間を意識	し、協力	りし合う方法を考え	えながら学校生活	を送る。					
		(3)行事への) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。									
	担当教職員	早坂あまね	まね、柳堀拓也、宮川亜美、並木美由紀、小原瑞騎、門脇美江									
*	:学校介護職員	*熊谷直幸	*高野	野悦子								
í	年間授業時数			37 単位時間								
	使用教科書		なし									
月	単元(題材	f) 名	指導時数)主な学習内容、			指導上の工夫			
4	オリエンテー	-ション		◆学校生	や学習内容に関する 生活に見通しや期待	持感をもつ。			・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。			
4	新入生歓	迎会	2	◆新入生	内容について意見を 生歓迎会の準備を行	テい、1年生を温だ	して準備をする。 かく迎える。		・出し物に見通しをもてるよう、どんな活動 があるか例示する。			
5	体育祭	Z.		〇体育:	祭の競技種目を知 祭の競技種目を依 祭に見通しをもち	本験し、互いに厉	かまし合い、練習	ි වීර්තිං	・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。			
6	修学旅·	· 行	4	○修学○修学	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○修学旅行に向けて事前準備をする。 ○修学旅行を終えて頑張ったことなどを発表する。 ◆修学旅行について見通しをもつ。				・見学先の写真や映像などの資料を用意する。 ・他の学習グループの仲間とコミュニケーションがとれる場面を設定する。			
7	1 学期を振り)返って	1		やスイッチなどの 期を振り返り、元				・自分なりの方法で発表できるよう支援する。			
	2 学期の ⁻	 予定	1		○2学期の主な行事予定を確認する。 ◆2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。				・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。			
9	卒業制作	F(1)		◆時計	制作(オリジナノ のデザイン選びや ができる。			:一緒に取り組	自分でデザインや色を選択することができる ように二択で提示する。個々の特性に合わせ た補助具を使用して製作する。			
10	- 墨東祭へ向けて		8	〇発表 〇小道 〇墨東	祭の発表内容を協の練習をする。 見や背景などを作 祭を振り返る。 の練習や道具の制	作成する。		参加する。	・自分なりの方法で活動できるよう支援具を 工夫したり、繰り返し練習したりし、見通し をもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーション がとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりでき る活動を設定する。			
12	2 2学期を振り返って		1		期を振り返り、元 期を振り返り、元			経表し合う。	・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを 行う。			
1	3学期の	予定		◆3学	期の主な行事予定を知り	ロり、見通しをも			・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。			
2	 - 卒業制作 	F(1)	5	◆時計	制作(オリジナ) のデザイン選びや ができる。			二緒に取り組	自分でデザインや色を選択することができる ように二択で提示する。個々の特性に合わせ た補助具を使用して製作する。			
3	卒業に向	けて	4		式の練習に参加す 式に向けて、式/		こと見通しをもつ) .	・見通しがもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。			
通年												

	学部	4	学部		学	年	第1	, 2,	, 3学年		教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
	教科等名			自	立活動				学習グリ	ルー	ープ名	中④
[目標・ねらい	一人一人の生徒が自立を目指し、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服できらい									善・克服できる	ように、自立活動の6区分に則って指導を行う。
	担当教職員											
í	丰間授業時数						71		単位時間			
	使用教科書		なし									
月	単元(題材	f) 名	指導時数		()主な学	習内容、◆	ねらし	ハ (評価の観点))		指導上の留意点及び工夫
	課題別学習		36	ケーシーの健康の保証の実施の実施の実施の実施の実施の関係を対象を表現しています。	ョンに関 状態の維 の理解と への参加 生活に必	するこ。 接・改 変化へ(の基礎) 要な基	となど) 善に関するこ の対応に関す に関すること 本動作に関す	と。 けるこ けるこ				・保護者、医師、外部専門家、自立活動担当教員と連携を図り、継続的に取り組めるようにする。 ・実態に即した課題や教材を設定する。 ・活動しやすい教室環境を整える。 ・ウォーカー等の教具を使用する。 ・タブレット端末やパズルなどの教材を使用する。
通年	特設自立活動		35	り階 ◆ ★ ★ 本 ★ 本 ★ 本 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	つ降 さ張をを踏・りに上 たゆ展方を関うしい上 たゆ展方を関うなり	膝操 うめきしん が回れる 筋筋を しててしう 旋り にててしる かい	、座位、立ち	jēり かる。 jō。	ストレッチ、ブ)、立ち上がり、	ブリ立	リッジ、寝返 で位、歩行、	

	学 部		中学部	学年	第1	 学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程		
	教科等名			日常生活の指導	中④					
	目標・ねらい	身辺処理や学	できること自分で決めることを増やし、身辺自立に向けて取り組む。 1理や学習環境の整備に対する意識や態度を育て、安全に日常生活を過ごす力を付ける。 1中のルールやマナーを学び、周囲の人と良好な関係を作る。							
*	担当教職員 学校介護職員	萩原圭介 「 *飯田実和								
	年間授業時数				75	単位時間				
	使用教科書					なし				
月	単元(題札	打 名	指導時数	○主な学	習内容、◆ねら	い(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫		
	荷物整理			○上着や連絡帳、提出物な ◆自分の荷物を整理し、電		所に片付ける。		・生徒の実態に合わせた指導方法や手順を工 夫して、分かりやすく示す。 ・活動しやすい環境を整備する。		
	健康管理			○自分自身の体調の変化I ◆自分の体調を整えるため	こ注意を払い、適t かに、自己管理が	切に休息・水分補 できるようになる	給等を行う。 。	・生徒の主体的な活動や意欲を引き出し、支援を最小限にする。 ・手洗い等の衛生マナーを主体的に行えるよう、言葉掛けをしたり、できたとき称賛す		
	清潔			○衛生的な手洗いや食後の ◆自分の身体や身の周りの	D歯磨き、清潔にD物を清潔に保ち、	保つためのルール 、快適に生活する	やマナー。 ことを学ぶ。	る。 ・身体の機能の向上や維持につながる活動を 取り入れる。		
	排泄			○排せつに関して、必9 ◆適切な言葉遣いで支払						
通年	係活動		75	○役割を分担し、決めら ◆自分の役割に責任をも						
	時間を考えた行動付け	○休み時間と授業時間を切り替え、授業に必要な物を準備したり、片付けたりする。 ◆主体的に行動する意識を育て、生活リズムを身に付ける。								
	適切な運動及び筋力の維持・ 教科			○様々な運動を通して、 の維持、強化ができる。◆身体の筋緊張などの記 つなげられる。	ようにする。					
	相手や場面に応じマナー	らたルール、 -		○安全に留意して、適t ○周囲の状況を見て、5 ○相手や場面に応じたが ◆自分のすべきことをサンをとる。	安全に行動する。 適切な言葉遣いを	を身に付ける。	ミュニケーショ			

学 部		F	中学部	学 年	第2,	3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
	教科等名		日常生活の指導 学習グループ名 中④					
	目標・ねらい	身辺処理や学	望環境の	で決めることを増やし、! 整備に対する意識や態度? ナーを学び、周囲の人と!	を付ける。			
	担当教職員 :学校介護職員	萩原圭介 *飯田実和		が 柳堀拓也 高橋大幸 敏行				
1	年間授業時数				74	単位時間		
	使用教科書					なし		
月	単元(題札	打 名	指導時数	○主な学	習内容、◆ねら	い(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
	荷物整理			○上着や連絡帳、提出物 ◆自分の荷物を整理し、		所に片付ける。		・生徒の実態に合わせた指導方法や手順を工夫して、分かりやすく示す。 ・活動しやすい環境を整備する。
	健康管理			○自分自身の体調の変化 ◆自分の体調を整えるた				・生徒の主体的な活動や意欲を引き出し、支援を最小限にする。 ・手洗い等の衛生マナーを主体的に行えるよう、言葉掛けをしたり、できたとき称賛す
	清潔			○衛生的な手洗いや食後 ◆自分の身体や身の周りの	の歯磨き、清潔に(の物を清潔に保ち、	保つためのルール . 快適に生活する	やマナー。 ことを学ぶ。	る。 ・身体の機能の向上や維持につながる活動を 取り入れる。
	排泄			○排せつに関して、必 ◆適切な言葉遣いで支	要な支援を依頼し 援を依頼したり、	ノて、健康と衛生 時間を意識した	を保つ。 りする。。	
通年	係活動		74	○役割を分担し、決め ◆自分の役割に責任を				
	時間を考えた行動、準備、片付け			○休み時間と授業時間付けたりする。 ◆主体的に行動する意				
	適切な運動及び筋教科	流力の維持・		○様々な運動を通して、関節の拘縮や変形を予防するとともに、筋力の維持、強化ができるようにする。 ◆身体の筋緊張などの調節が図れ、様々な身体の機能の向上や維持につなげられる。				
	相手や場面に応じマナー	こたルール、		○安全に留意して、適 ○周囲の状況を見て、 ○相手や場面に応じた ◆自分のすべきことを ンをとる。	安全に行動する。 適切な言葉遣いを	を身に付ける。	ニュニケーショ	

	学 部		字部		·····································	工型米付加又版- 第]		教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程			
	教科等名		J PP			7/3 1		<u> </u>	中4			
	目標・ねらい			通して、	生活に役立つ	 知識や技能を身に 課題解決に取り組	付ける。		10			
		 (3)集団の)中で主体	めに友達	と協力しながら	必要な知識や決まり)を知り、課題に!	取り組むことがで	් ට්			
	—————————————————————————————————————	萩原圭介 (* 飯田実和		マイン 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね 日前行								
ź	 F間授業時数	2011 12 (10)	148 単位時間									
	使用教科書	1年 東書 社	t会&&&	☆ 東書	= 理科☆☆☆☆	東書 職業・家庭公	でななな 冨山	房 もりのともだち	5 新装版			
月	単元(題本	f) 名	指導時数		○主なき	学習内容、◆ねらり	ハ (評価の観点)		指導上の留意点及び工夫			
4	新学期の準備 教室をつく 掲示物の・	(ろう		◆グル- る。 ○植物(ープ集団や新学 の栽培や観察、 などで自然の事	知る。掲示物や目期に向けて活動や 事節に関連した制 季節に関連した制物などに触れ、戸	目標などについ 別作をする。		・活動内容を教員が実際に手本を示すことで、生徒が活動内容を理解できるようにする。 ・写真や動画で工程を提示し、活動内容に見			
6	季節を感じ ~春~ 体育祭へ向	こよう -	44	〇映像 〇各演	を見たり絵に描 支種目の練習を		・ サラスド動画と工程を促がし、石動的台に兄 通しがもてるようにする。 ・ 共同制作から始めて、取り組む活動内容に ついてイメージを膨らませることができる。					
7	季節を感じ 〜夏〜 世界の文化に	_	30	○植物(○夏に ◆社会! ○社会! ◆世界(関連した体験を 見学へ向けて、 見学事前事後学 ひ文化を体験し	季節に関連した制 する。 見学先について <i>0</i>)理解を深める。 こができる。	でを学ぶ。	・知識・技能が身に付けられるよう継続的に 作業を行う。授業で培った創意工夫、技術な どを総合的に発揮できるよう、様々な題材や 教材を用意する。 ・実際に教材に触れて、意欲を高めイメージ をもつことができるようにする。			
10	黒東祭に向	הולר.		〇秋に					各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。			
11	季節を感じよう			◆段ボー ことが ◆各工程	ールや紙など、 できる。 程を丁寧に取り	様々なものを扱う 組むことができる のを振り返り、道) _o		友達と協して作ることで、意欲を高める。			
12	~秋~								制作した作品を並べることで、振り返ること ができるようにする。			
1				る。 ○校内 ⁴ ◆冬に	ウ近隣の落ち葉 関する物や音楽	でを聞いたり、季などを使った制作をなどに触れ、季節	活動をする。		映像や手本を提示しながら制作工程を知り、 自分が表現したいものを作って制作する。			
2	季節を感じよう ~冬~ 1年のまとめをしよう		らよう 38 d		のメッ 38 O卒業			りをする。 5会の企画、進行を ぎすることができる			各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。	
3	3								様々な見本を用意し、生徒が選択して取り組 めるようにする。			
通年	読書活動	b			D図書コーナー な本を読んで、	-を利用する。 、歴史や文化を学	<u>4</u> ,3%		身近で有名な本を提示し、興味・関心を高める。			

				7 (202	·····································	工型米付加又版-	3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程		
			1.2-hh			7,12,		対点外性な レープ名	中4		
	横・ねらい	. , .,		通して、	生活に役立つ知		付ける。		1.0		
'	- 10. S					必要な知識や決まり			ප් ට ං		
	—————————————————————————————————————	萩原圭介	内田麻衣	秋 郷田田 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね							
	三十八日 三十日 三十日 三十日 三十日 三十日 三十日 三十日 三十日 三十日 三十	* 即田夫和	TH実和 *池田敏行								
	十间坟未时数		146 単位時間								
	使用教科書	2年 東書 社 3年 東書 社	<u>ተ</u> ድ አ	☆☆ 東書 ☆☆ 東書	書 理科☆☆☆☆☆ 書 理科☆☆☆☆☆	東書 職業・家庭公 東書 職業・家庭公	rጵጵጵጵ BL¦ ነなชชชช BL	出版 手と手をつな 出版 手と手をつな			
月	単元(題材	f) 名	指導時数		○主な学	褶内容、◆ねら	ハ (評価の観点)		指導上の留意点及び工夫		
4	新学期の準備 教室をつく			◆グル- る。 ○植物の	-プ集団や新学! D栽培や観察、!	知る。掲示物や目 期に向けて活動や 季節に関連した制物などに触れ、戸	9目標などについ 別作をする。		・活動内容を教員が実際に手本を示すことで、生徒が活動内容を理解できるようにする。		
5	教室をつくろう 掲示物の作成 季節を感じよう ~春~ 体育祭へ向けて			ことがで 〇映像を 〇各演打	できる。 を見たり絵に描 支種目の練習を	いたりする。			・写真や動画で工程を提示し、活動内容に見通しがもてるようにする。 ・共同制作から始めて、取り組む活動内容についてイメージを膨らませることができる。		
6											
7	季節を感じよう 〜夏〜 世界の文化に触れよう		30	○植物の ○夏に関 ◆社会見 ○社会見	関連した体験を 見学へ向けて、 見学事前事後学	季節に関連した制 する。 見学先について <i>0</i>)理解を深める。		・知識・技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。授業で培った創意工夫、技術などを総合的に発揮できるよう、様々な題材や教材を用意する。 ・実際に教材に触れて、意欲を高めイメージ		
10				○ICT ○映像を ○秋に関		、映像を見ながら いたりする。 する。		ごを学ぶ。	をもつことができるようにする。 各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。		
11	型車祭に向けて 無台道具作り			○作品◆段ボーことがで◆各工程	展示 −ルや紙など、; ごきる。 呈を丁寧に取り;	様々なものを扱う 組むことができる	,)。		友達と協して作ることで、意欲を高める。		
12	~秋~					のを振り返り、遠			制作した作品を並べることで、振り返ること ができるようにする。		
1				る。 ○校内で ◆冬に関	♪近隣の落ち葉 関する物や音楽	どを聞いたり、季などを使った制作などに触れ、季節	≅活動をする。		映像や手本を提示しながら制作工程を知り、 自分が表現したいものを作って制作する。		
2	全 2 季節を感じよう ~冬~ 1年のまとめをしよう		36 (Oメッt 36 O卒業に		メッセージカード作りをする。 卒業に関連した送る会の企画、進行をする。 気持ちを込めて開催することができる。			各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。	
3	3								様々な見本を用意し、生徒が選択して取り組 めるようにする。		
通年	読書活動	b			D図書コーナー? は本を読んで、、	を利用する。 、歴史や文化を学	47% -17%		身近で有名な本を提示し、興味・関心を高める。		

	学 部	4	 -学部	学 年	第1・2	• 3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程				
	教科等名			作業学習		学習グ	ループ名	中④				
		(1)各自の	課題に対	しての、責任をもって信	土事を果たす力を	育てる。						
	目標・ねらい	(2)一定時	間集中し	て丁寧に仕事を行い、幸	8告を自分からて	できるようになる	,)。					
		(3)作業工程	程や指示	を理解し、見通しをもっ	て主体的に取り	組む力を養う。						
	担当教職員	萩原圭介「	内田麻衣	柳堀拓也 高橋大幸	早坂あまね							
*	学校介護職員	*飯田実和	*飯田実和 *池田敏行									
í	年間授業時数	1, 2年 143 単位時間										
	使用教科書	なし										
月	単元(題材	<i>t</i>) 名	指導時数	()主な学習内容、	♦ねらい		指導上の工夫				
4	オリエンテー	-ション	5	○作業学習の紹介やデョ◆どのような学習に取り	Eンストレーショ O組むのか学ぶ。	ョンを見て、実際	際に取り組む。	実演を通して作業学習へのイメージを具体的 にもてるようにする。				
				○掃除する必要がある場	場所や、掃除場所	「についてグルー	-プで話し合	タブレット端末を使い、校内の掃除の様子を				
5				う。 ○掃除道具を使い、校内	内を清掃する。			撮影して活動内容を各グループで共有できる ようにする。				
6	清掃活 教室整 紙のリサィ	備	65	◆掃除用具の扱い方やき ◆様々な場所の掃除の信		ダぶことができる	ó.	作業日誌を作成し、取り組んだ作業内容について振り返ることができるようにする。				
7	NNO2.2.2.1	1 / 1//	05	○教室内の整理整頓○不要なプリントのショ	フ レッダーを行 ^っ	ā.		 技能が身に付けられるよう継続的に作業を行				
'				○作業道具の扱い方や片 ◆各工程の手順を理解す	†付け方について	「知る。		<u></u> ට්.				
9				◆各工程を分業制にする	ることで作業の対	授業で培った事務作業能力などを総合的に発 揮できる内容を工夫する。						
10				○自分の住んでいる地域 ○様々なごみの種類にこ ○初歩的なパソコン入力	ついて知る。	ついて学ぶ。		視覚支援を用いてごみの種類へイメージをも つことができるようにする。				
	\ + 17\\	T1		〇作業道具の扱い方や片	十付け方について	T知る。						
11	清掃活 オフィス リサイク	事務	43	◆自分の住む地域につい ◆各工程を丁寧に取り約		Do		作業プリントを作成し、取り組む作業内容に ついて見通しをもつようにする。				
12												
1				○製品作りの計画を立て ○製品制作や検品を行う ◆製品を使う相手を考え	ō.							
	清掃活		25	◆各工程を丁寧に取り終	狙むことができる	5.		 仕事の依頼者との交流を大切にし、達成感を				
2	製品作	り	25	◆目標を立てて達成する	ら ことか <i>ぐ</i> きる。			感じられるようにする。				
3				○身だしなみを整える。								
	ビジネスマ	アナー	5	○場面に相応しい言葉過	遣いをする。	+ı+ z		グループ以外の教員とのやり取りを交えて実 践的に行う				
通年				◆進路に向けてビジネス	スマナーを身に作	がいる。						

	学 部	F	学部	学 年	第1・2	• 3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程				
	教科等名			作業学習		学習グル	ループ名	中④				
		(1)各自の	課題に対	しての、責任をもって仕	上事を果たす力を	育てる。						
	目標・ねらい	(2)一定時	間集中し	て丁寧に仕事を行い、幸	器告を自分からて	ごきるようになる	,)。					
		(3)作業工程	程や指示	を理解し、見通しをもっ	て主体的に取り	組む力を養う。						
	担当教職員	萩原圭介(内田麻衣	柳堀拓也 高橋大幸	早坂あまね							
*	学校介護職員	*飯田実和	* 飯田実和 * 池田敏行									
	年間授業時数	3年 141 単位時間										
	使用教科書	なし										
月	単元(題材	オ) 名	指導時数	()主な学習内容、	♦ねらい		指導上の工夫				
4	オリエンテー	ーション	5	○作業学習の紹介やデモ◆どのような学習に取り	Eンストレーショ O組むのか学ぶ。	ョンを見て、実際	際に取り組む。	実演を通して作業学習へのイメージを具体的 にもてるようにする。				
				○掃除する必要がある場	易所や、掃除場所	「についてグルー	-プで話し合	タブレット端末を使い、校内の掃除の様子を				
5				う。 ○掃除道具を使い、校内	内を清掃する。			撮影して活動内容を各グループで共有できる ようにする。				
6	清掃活 教室整 紙のリサィ	備	65	◆掃除用具の扱い方やき ◆様々な場所の掃除の信		^対 ぶことができる	ó.	作業日誌を作成し、取り組んだ作業内容について振り返ることができるようにする。				
7	MNOフラッコ	יולו	0.5	○教室内の整理整頓○不要なプリントのシェ	フ lノッダーを行 ^っ	ō.		 技能が身に付けられるよう継続的に作業を行				
'				〇作業道具の扱い方や片	†付け方について		<u></u> ට්.					
9				◆各工程の手順を理解す ◆各工程を分業制にする	ることで作業の交	授業で培った事務作業能力などを総合的に発 揮できる内容を工夫する。						
10				〇自分の住んでいる地域 〇様々なごみの種類に	ついて知る。	Oいて学ぶ。		視覚支援を用いてごみの種類へイメージをも				
				○初歩的なパソコン入力○作業道具の扱い方や身		T知る。		つことができるようにする。				
11	清掃活 オフィス	<u></u> .	41	◆自分の住む地域につい ◆各工程を丁寧に取り約		<u>ځ.</u>		 作業プリントを作成し、取り組む作業内容に				
L''	リサイク		+1	·▼□┸Iエヒ』テルーサメンル		V U		ついて見通しをもつようにする。 				
,,												
12												
				○製品作りの計画を立て ○制品制作の終品を行る								
1				○製品制作や検品を行う◆製品を使う相手を考え	えて作業する。	_						
	清掃活 製品作		25	◆各工程を丁寧に取り紙 ◆目標を立てて達成する	掛むことができる ることができる。	ó.		仕事の依頼者との交流を大切にし、達成感を 感じられるようにする。				
2	表叫	∙)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				フルレンカレのクンにから				
3				○白がしたひた勘ニマ								
	ビジネスマ	7ナー	5	○身だしなみを整える。○場面に相応しい言葉道	遣いをする。			グループ以外の教員とのやり取りを交えて実 践的に行う				
通年				◆進路に向けてビジネス	スマナーを身に作	付る。		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				